

教職員のメンタルヘルス不調の予防、早期発見・早期対応、職場復帰支援・再発防止に関する調査研究

1. 事業の実施報告

(1) 調査研究のねらい

本市学校園労働安全衛生体制を基に、教職員の精神性疾患に至った原因・背景等を分析し、メンタルヘルス不調予防、早期発見・早期対応、職場復帰支援・再発防止に向けての効果的な施策について調査研究する。

<本市学校園の労働安全衛生体制>

【中央体制】

全学校園教職員の安全衛生施策の統一的な推進を図ることを目的とし、中央体制を整備

- ・産業保健スタッフとして産業医（総管理担当）、精神保健担当医を配置し、医学的専門的な立場からの情報の収集及び提供、助言及び指導を受け、教職員の健康の保持増進を図る。
- ・産業医・精神保健担当医・学校園長代表・教職員代表・教育委員会関係課長で構成する「堺市学校職員中央衛生委員会」を設置し、各立場からの意見を聴きつつ、実態に即した安全衛生施策を推進する。
- ・教職員の休職等を審査する「堺市学校職員健康審査会」を設置し、精神性疾患による休職者には精神保健担当医による事前面談を実施する。

【学校園体制】

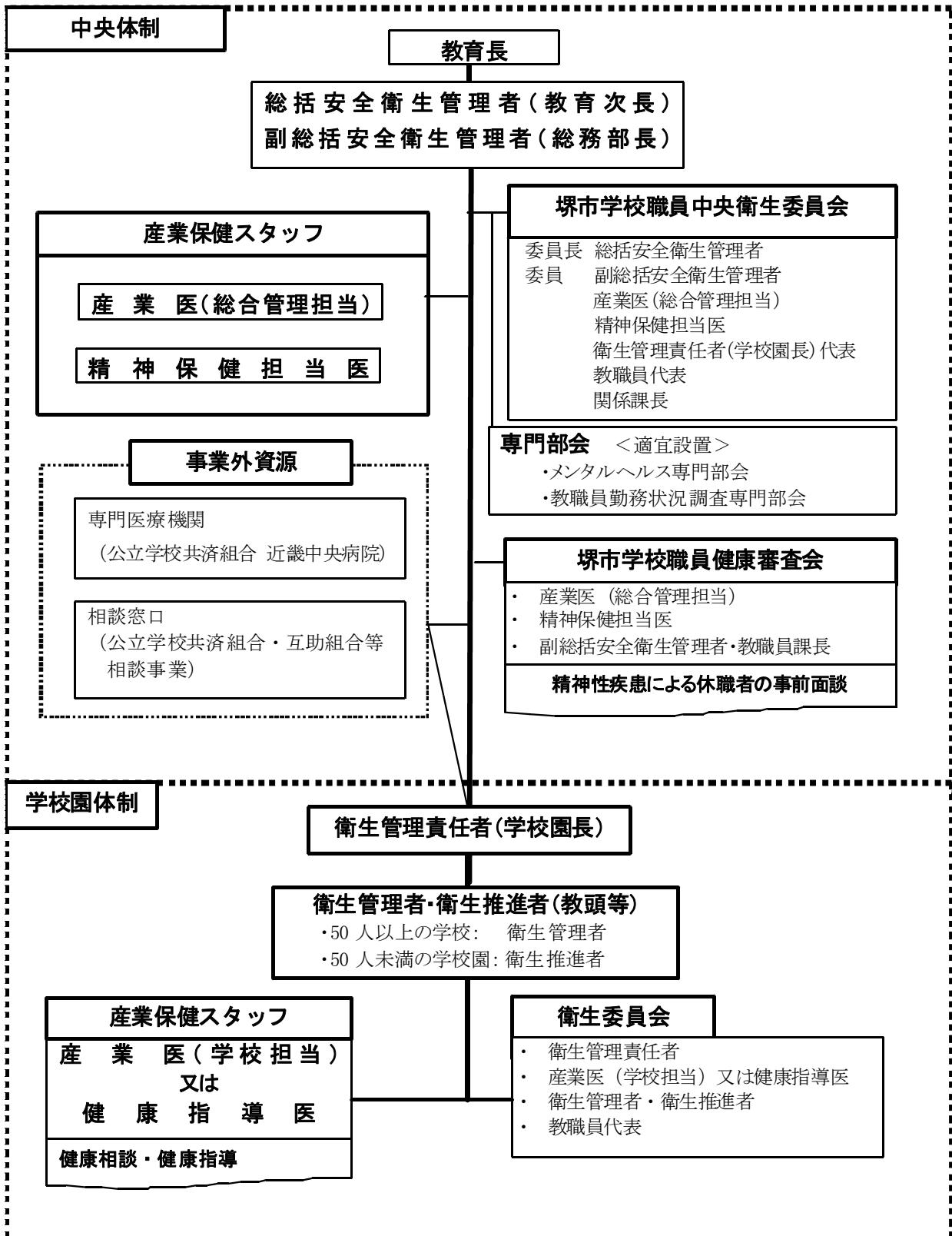
教職員人数の規模に関わらず、全学校園に労働安全衛生体制を整備

- ・産業保健スタッフとして産業医または健康指導医（50人以上は産業医に限る）を配置する。
- ・学校園長は衛生管理責任者となり、教頭は衛生推進者（50人以上は衛生管理者）の資格取得をし、職場の安全衛生を推進する。
- ・衛生管理責任者・衛生推進者（衛生管理者）・産業医・教職員代表で衛生委員会を組織し、職場単位的安全衛生施策を推進する。
- ・産業医・健康指導医による健康相談を学校園単位で実施する。

【事業外資源】

- ・専門医療機関（公立学校共済組合 近畿中央病院）と委託契約し、集団精神療法による復職支援事業を実施する。
- ・24時間体制で対応できる健康相談窓口として、公立学校共済組合・互助組合の福祉事業等を活用する。

堺市立学校職員安全衛生組織図 【概要】



(2) 事業の実施状況

(ア) 教職員のメンタルヘルス対策についての調査研究

月	事業名	内 容
6月4日	堺市学校職員 中央衛生委員会	・今年度の方針・年間計画 ・専門部会の設置と委員の決定
6月25日	メンタルヘルス 専門部会	・学校マネジメント支援に関する調査研究事業について ・メンタルヘルス小冊子の作成について
10月29日	教職員勤務状況 調査専門部会	・勤務状況調査アンケート実施について
12月17日	堺市学校職員 中央衛生委員会	・メンタルヘルス専門部会 活動報告 ・教職員勤務状況調査専門部会 活動報告 ・学校マネジメント支援に関する調査研究事業 中間報告について ・定期健康診断の結果について
1月28日	メンタルヘルス 専門部会	・学校マネジメント支援に関する調査研究事業について ・復職支援事業について
3月2日	教職員勤務状況 調査専門部会	・勤務状況調査アンケート分析について

(イ) 精神保健担当医による指導・助言

【精神性疾患による休職者の面談】

堺市学校職員健康審査会では、一般疾病・精神性疾患ともに、療養報告書により病気休職中の療養経過を把握し、学校園長の具申及び主治医の診断に基づき新規休職・休職更新・復職等の審査を実施している。

精神性疾患により病気休職・休職更新・復職しようとする教職員に対しては、精神保健担当医による事前面談を実施するとともに、面談記録簿を整備している。

<面談内容>

- * 詳細な発病状況・療養経過の把握
- * 適正な療養方法についての健康相談・健康指導
- * 適正な復職時期について、本人・学校園長を含めて調整
- * 復職に向けた自己訓練・復職支援事業活用に関する相談の実施

<面談実績>

- * 平成19年度8月から平成21年度3月末まで 延べ329人 実人数89人

(ウ) 全教職員を対象としたストレスチェック

＜目的＞ メンタルヘルス不調リスクの高い職員を早期に発見し、早期対応を図る。

＜ストレスチェック項目＞

メンタルヘルス不調リスクの高いもの

- ・睡眠時間が5時間未満のもの
- ・2週間の様子について、2つ以上該当するもの

休養・睡眠に関する問診		
1	職場での休憩時間はどのくらいとれていますか(昼食時間含む)	約()分/日
2	休養は十分とれていますか	①はい ②いいえ
3	一日の睡眠時間は約何時間ですか。	約()時間/日
最近(この2週間)の様子についてお尋ねします。		
①	毎日の生活に充実感がない	①はい ②いいえ
②	これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	①はい ②いいえ
③	以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる。	①はい ②いいえ
④	自分が役に立つ人間だと思えない	①はい ②いいえ
⑤	わけもなく疲れたような感じがする。	①はい ②いいえ

＜ストレスチェック及び事後措置の流れ＞

1	・ストレスチェックによりメンタルヘルス不調リスクの高い職員を把握(定期健康診断時) ・職場固有のストレス傾向について把握
2	・産業医・健康指導医による面談 「ストレスチェック面談時質問事項」を基にタイプ別に分類し、タイプに応じた健康相談・健康指導・受診勧奨を実施
3	・専門医療機関への受診勧奨 ・相談窓口の周知 ・職場固有のストレス傾向についての分析・対策

ストレスチェック 面談時 質問事項	
Q1	毎日のように、ほとんど1日中ずっと憂うつであったり、沈んだ気持ちでいましたか？
Q2	ほとんどの事に興味がなくなっていたり、大抵いつもなら楽しめていたことが楽しめなくなっていましたか？
Q3	毎晩のように睡眠に問題（たとえば寝つきが悪い、真夜中に目が覚める、朝早く目が覚める、寝すぎてしまうなど）がありましたか？
Q4	毎日のように自分に価値がないと感じたり、または罪の意識を感じたりしましたか？
Q5	毎日のように、集中したり決断することが難しいと感じましたか？
Q6.	不眠、意欲がない、憂うつなどのために、仕事や生活に支障が かなり ありますか。
Q7.	死にたいと考えたことがありますか。今もそんなふうに考えたりしますか？

(エ) 職場復帰支援事業の実施

●専門医療機関におけるトレーニング

本人の復職に対する不安を軽減し、疾病の再発防止を図るため、本人の申し出により主治医の指示の下、専門医療機関にて実施

委託先：公立学校共済組合 近畿中央病院

①集団精神療法

同様の問題を抱えた教職員が意見交換を通して、自己洞察を深め、今後のストレスコントロールや職場復帰について具体的に考えていくことに役立てる。

②模擬授業

教科指導や学級把握についての悩みは教師の感じるストレス要因のひとつであり、授業を模擬で行うことで、職場復帰に向けてのリアリティと自信につなげることに役立てる。

③各種グループワーク等

運動や芸術活動を通じて心身の状態を整える。また、ボランティア等の各種作業を通じて働くことの喜びを取り戻させ、職場復帰への足がかりとする。

●堺市学校職員の職場復帰のための職場リハビリテーション

本人の復職に対する不安を軽減し、疾病の再発防止を図るため、本人の申し出により主治医の指示の下に、現任校の教職員の理解・協力を得て現任校にて実施（通勤練習・職員会議参加・書類の整理等）

実績：平成20年度 6人 平成21年度2月末まで4人

●復職支援員による巡回指導

復職後、復職支援員が当該学校園を巡回し、復職状況・健康状態の把握及びフォローアップ・相談活動を実施

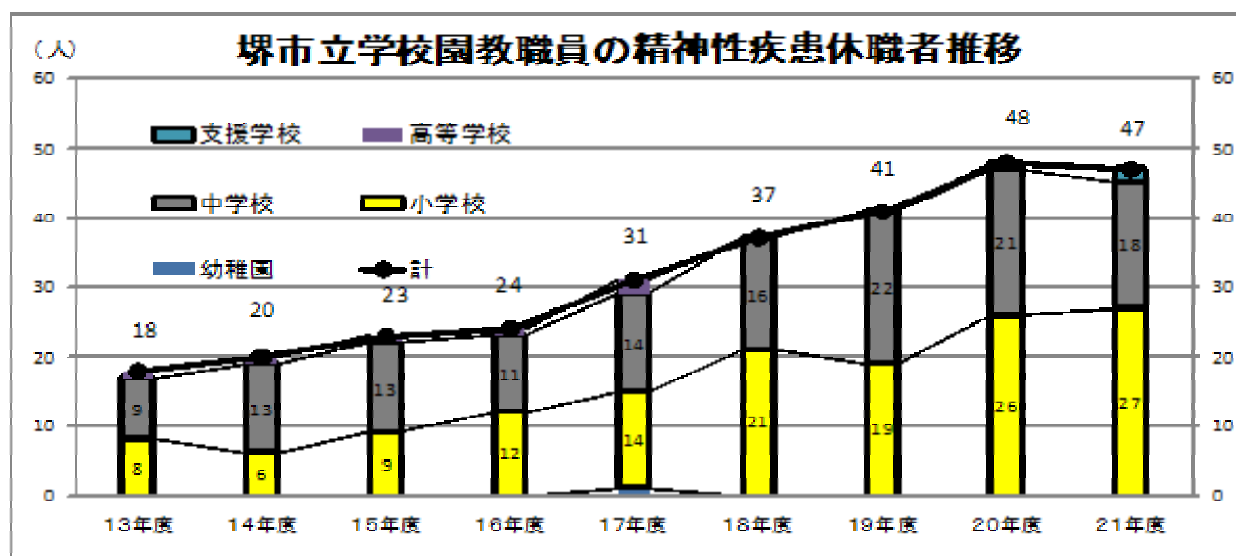
●復職後の人的措置（教諭・養護教諭）

復職後の業務をよりスムーズに行うために、授業中の復職後2週間を限度として、代替職員の措置期間を延長する。（大阪府の制度活用）

(オ) メンタルヘルスカを推進するための研修及び啓発資料の提供

月	事業名	講師等	内容
7月23日	衛生管理者・ 衛生推進者（教頭） 研修	公立学校共済組合 近畿中央病院 心療内科 大久保美和子 臨床心理士	教職員の メンタルヘルス
7月24日	衛生委員 （教職員代表）研修	公立学校共済組合 近畿中央病院 心療内科 メンタルヘルス・センター副室長 井上 麻紀 主任心理療法士	教職員の メンタルヘルス
7月24日 8月25日	衛生推進者	（社）大阪中央労働基準協会	衛生推進者
7月31日	衛生管理責任者 （学校園長）研修	公立学校共済組合 近畿中央病院 心療内科 メンタルヘルス・センター副室長 井上 麻紀 主任心理療法士	教職員の メンタルヘルス
10月	・啓発リーフレット「労働安全衛生だより」発行 ・啓発冊子「教職員のメンタルヘルス」作成・配布		教職員の メンタルヘルス等
1月19日	衛生管理責任者 （学校園長）研修 共催 地方公務員災害 補償基金堺支部	教職員課 参事	堺市立学校園の 労働安全衛生
3月18日	産業医等研修会 共催 ・堺市医師会 ・地方公務員災害補償 基金堺支部	産業医（総合管理担当） 岡原 猛 医師 村木 宏要 医師	堺市立学校園の 労働安全衛生

2. 調査研究の成果



(1) 休職者数推移

堺市では、精神性疾患による休職者はここ十数年にわたり一貫して増加してきたが、平成21年度に初めて減少に転じた。

単年度で即断はできないが、増加傾向に一定歯止めがかかったようである。

今後新規の精神性疾患による休職や復職者の再発を未然に防ぐため、一次予防・二次予防・三次予防について一層推進することが必要である。

(2) 復職支援の効果

①専門医療機関におけるトレーニング

平成15年度から平成21年度までに実施した13人については、10人が現復職成果は約77%である。

同様の問題を抱えた教職員が復職トレーニングを共有したことにより、復職者同士が情報交換をし、励まし合いながら相互支援が継続されている。

②堺市学校職員の職場復帰のための職場リハビリテーション

平成20年度12月（制度導入開始）から平成21年度3月までに本人の意思に基づき14人実施している。

本人の実施報告書では、「職場での荷物の整理や教材研究の時間を持つことができた余裕をもって復職することができた。いきなり復職していたら混乱していたと思う。」「学校や児童生徒の状況を事前に知ることができ心の準備ができた。」「講師からの引き継ぎが落ち着いて余裕をもってできた。」など、円滑な復職に役立ったという感想が多かった。

また、管理職からも、職場リハビリテーションにより、本人に応じた支援体制の準備期間を持つことができたという感想を得ている。

③復職支援員による巡回指導

復職支援員が復職者の在籍する当該学校園を巡回し、復職状況・健康状態の把握及びフォローアップ・相談活動を実施している。20年度、21年度の実績は延べ100人である。

復職時・1か月後・半年後・1年後の本人の状況を把握し、状況に応じた職務の軽減等の調整、周囲のサポート体制の構築等、再燃防止のために本人及び管理職のフォローアップ・相談活動をしている。

3. 今後の取組予定

一次予防・二次予防・三次予防の充実

一次予防 (発症の予防)	・実態把握 ・職場環境づくり ・研修会、情報提供（啓発冊子、DVD等貸出）
二次予防 (早期発見・早期対応)	・管理監督者・周囲の職員の取り組み・本人への働きかけ ・ストレスチェック（うつ病スクリーニング） ・相談体制の整備（産業医・健康指導医による健康指導）
三次予防 (職場復帰・再発防止)	・復職基準の整備 ・職場復帰支援事業 ・職場環境整備